

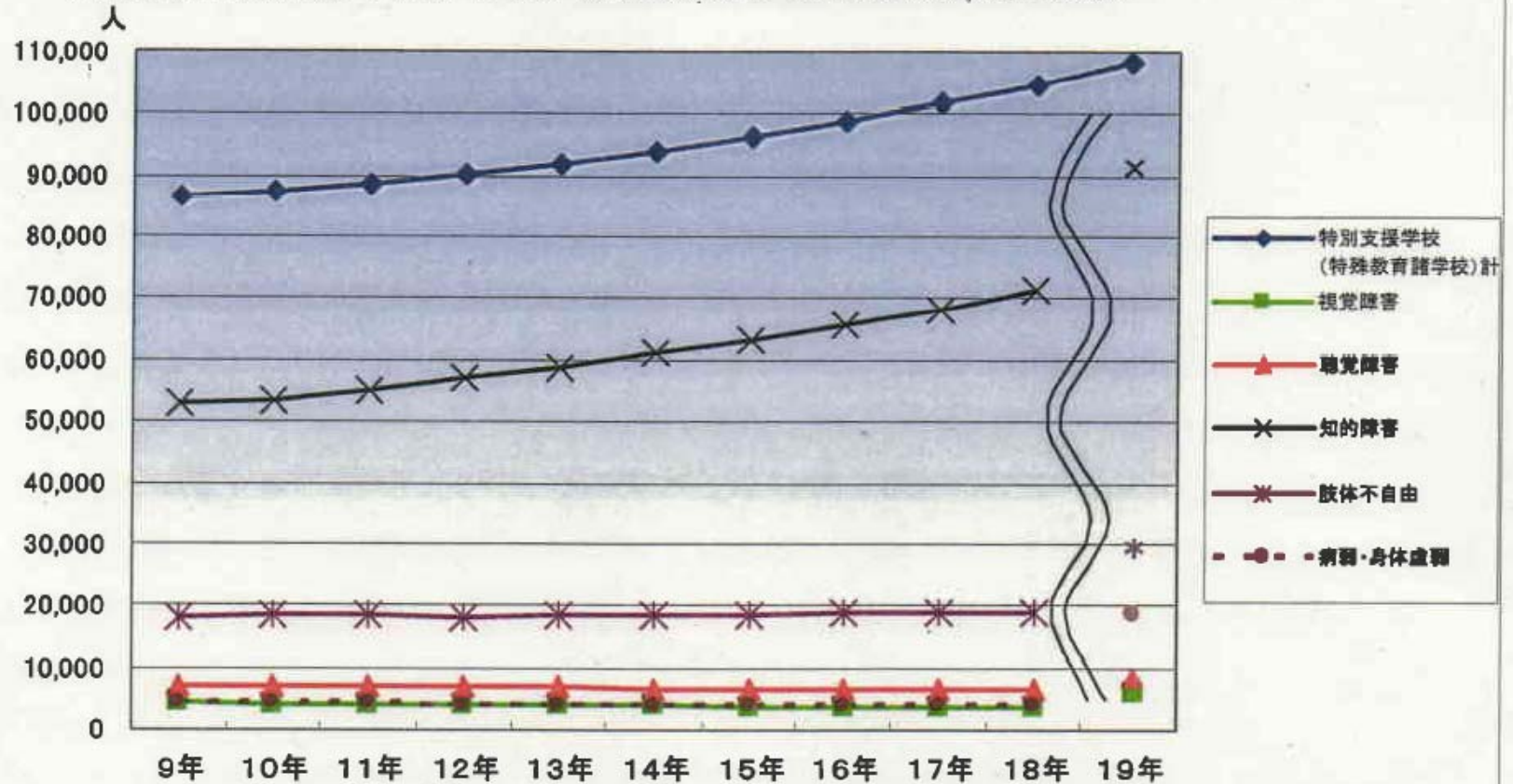
# 特別支援学校における 特別支援教育の推進状況について

特別支援教育の推進に関する  
調査研究協力者会議資料

全国特別支援学校長会 岩井雄一

# 特別支援学校の現状

特別支援学校(幼稚部・小学部・中学部・高等部)在籍者・各障害種別在籍者の推移



# (1) 特別支援学校の学校数、幼児 児童生徒数及び教職員数 - 国・公・私立計 -

学校数	幼児児童生徒数					教職員数（本務者）		
	計	幼稚部	小学部	中学部	高等部	計	教員数	職員数
1,013 校	108,173 人	1,653人	33,411 人	24,874 人	48,235 人	82,164 人	66,807 人	15,357 人

特別支援教育資料（平成19年度）より

# 特別支援教育体制整備状況

- ◆ 校内委員会
- ◆ 実態把握
- ◆ 特別支援教育コーディネーター
- ◆ 個別の指導計画
- ◆ 個別の教育支援計画
- ◆ 巡回相談
- ◆ 専門家チーム
- ◆ 研修

# 法改正を踏まえた 旧盲・聾・養護学校の校名変更の状況 (新設校を含む集計)

平成18年 度	平成19年 度	平成20年 度	計
3校	185校	141校	329校

(注:平成18年度の変更は、法改正施行(平成19年4月1日)前ではあるが、法改正を見越してその趣旨に添った校名としたもの。)

「学校教育法等の一部を改正する法律を踏まえた旧盲・聾・養護学校の校名変更状況調査(平成20年度)文部科学省」より

# 学校教育法の一部改正(概要)

- ◆ 盲学校、聾学校、養護学校を障害種別を超えた特別支援学校に一本化
- ◆ 特別支援学校においては、在籍児童等の教育を行なうほか、小中学校等に在籍する障害のある児童生徒等の教育について助言援助に努める旨を規定。

# 法改正を踏まえた複数の対象障害種に変更した特別支援学校の状況 (新設校を含む集計)

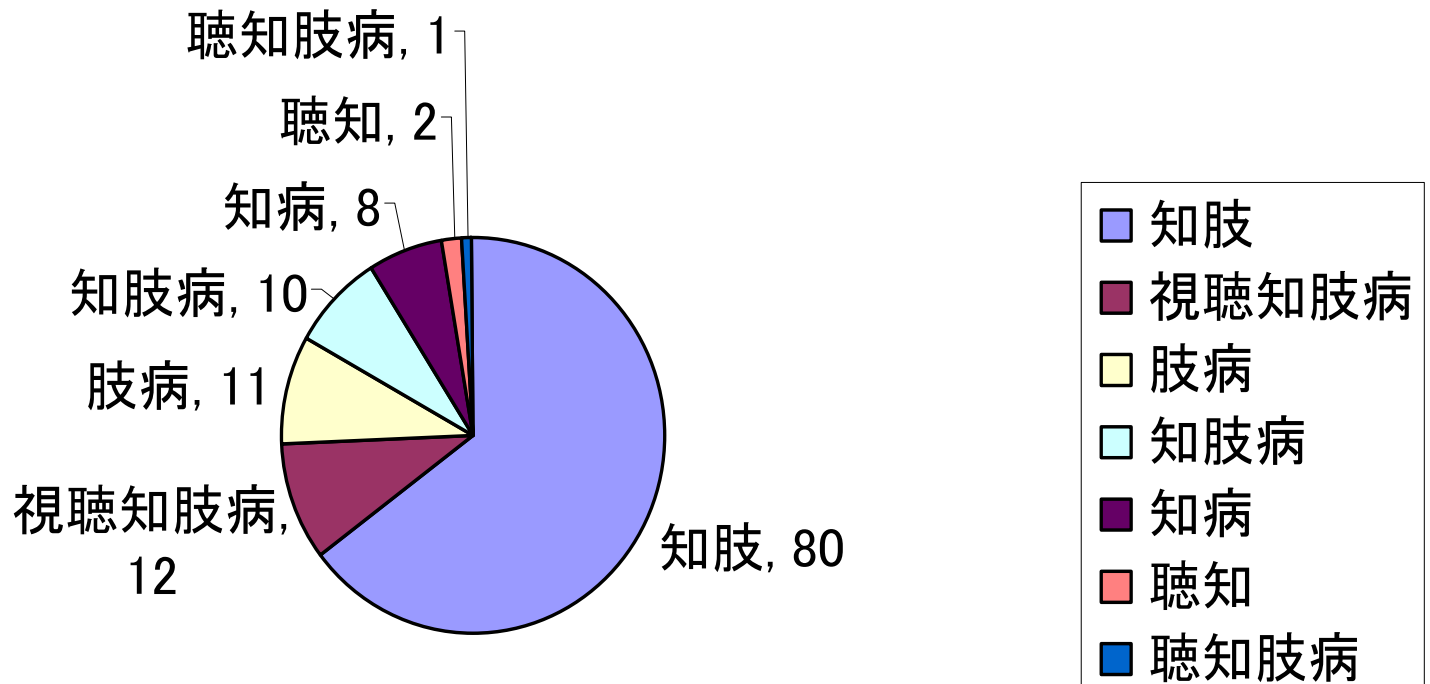
平成19年度から	平成20年度から
24校	30校

(注:法改正施行(平成19年4月1日)前に旧養護学校において複数の障害を教育の対象としていたものが、上とは別に72校ある。)

「学校教育法等の一部を改正する法律を踏まえた旧盲・聾・養護学校の校名変更状況調査(平成20年度)文部科学省」より

# 複数の障害種に対応する 特別支援学校の現状

20年度複数の障害種に対応する学校数





# 学校教育法の一部改正(概要)

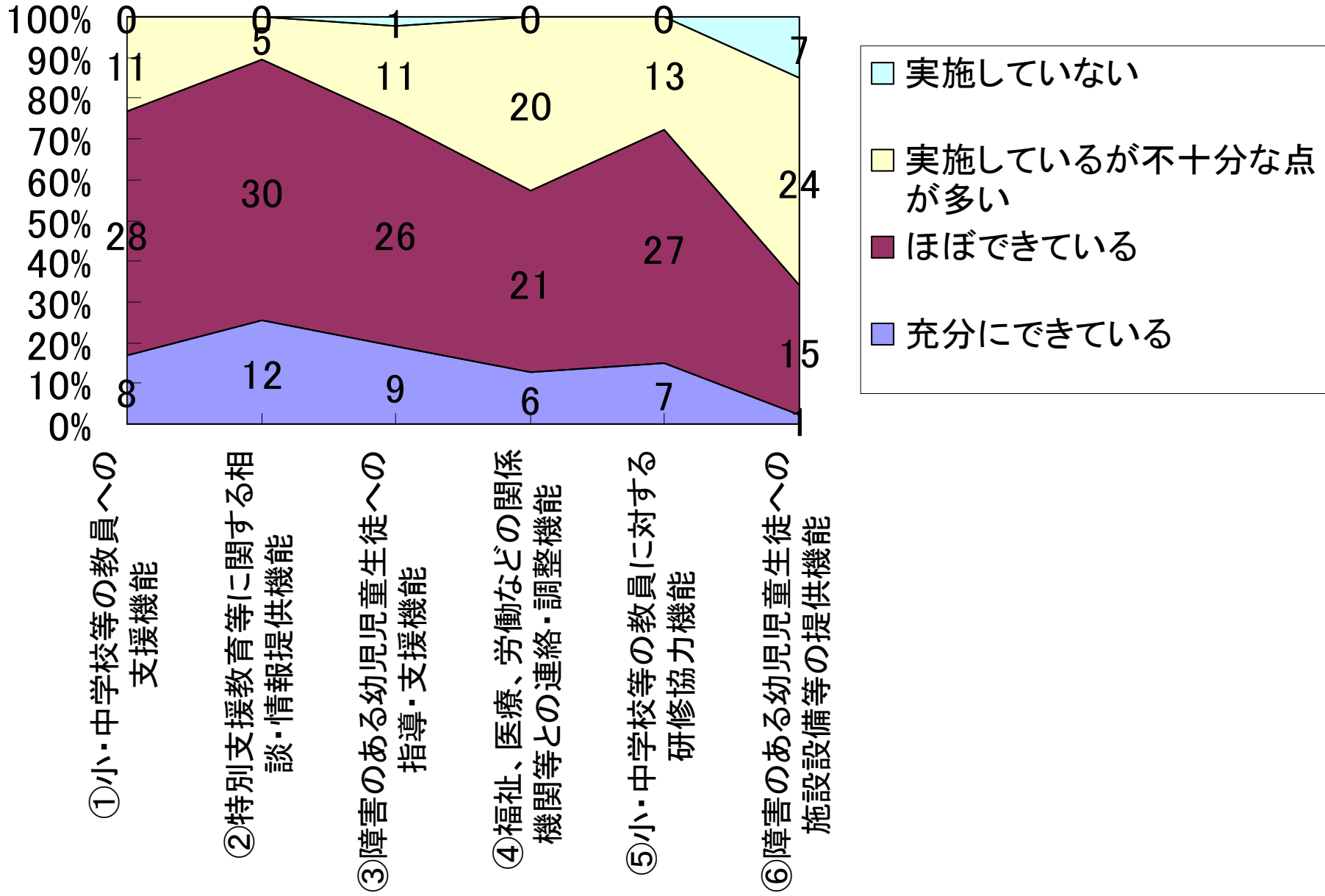
- ◆ 盲学校、聾学校、養護学校を障害種別を超えた特別支援学校に一本化
- ◆ 特別支援学校においては、在籍児童等の教育を行なうほか、小中学校等に在籍する障害のある児童生徒等の教育について助言援助に努める旨を規定。

# 答申に示されたセンター的機能の例

特別支援教育を推進するための制度の在り方(答申)より

- ①小・中学校等の教員への支援機能
- ②特別支援教育等に関する相談・情報提供機能
- ③障害のある幼児児童生徒への指導・支援機能
- ④福祉、医療、労働などの関係機関等との連絡・調整機能
- ⑤小・中学校等の教員に対する研修協力機能
- ⑥障害のある幼児児童生徒への施設設備等の提供機能

# センター的機能の実施状況



# 平成19年度全特長研究収録より

## 視覚障害特別支援学校における教育相談 等のセンター的機能の実績(回答70校)

	件数	述べ回数
訪問による教育相談	1,621人	3,329回
来校による教育相談	1,939人	9,393回
教材教具の貸し出し		625回
研修支援		223回

平成19年度全特長研究収録より

## 聴覚障害特別支援学校における教育相談 等のセンター的機能の実績(回答96校)

来校による教育相談	37,898	(前年度比 +8,000)
巡回、サテライト、訪問	4,060	
通級による指導	59校で実施	

# 平成20年度全知長情報交換資料より 小中学校への支援状況(概数)

	幼・保	小・中	高	その他	計
研修会への講師・ 助言者の派遣	1,068	4,348	540	1,626	7,582
巡回相談等への職 員の派遣	7,124	18,728	757	1,741	28,350
電話相談、来校して の見学・相談等	11,513	24,952	2,187	4,674	43,299

# 平成19年度全特長研究収録より

## 肢体不自由特別支援学校における

### センター的機能の実績

支援の実施回数(対象校別)

複数回答・単位:校

	1～5	6～10	11～15	16～20	21以上	合計
幼稚園	66	15	12	4	21	118
小学校	48	35	25	16	55	179
中学校	80	35	10	4	25	154
高等学校	74	6	2	1	1	84
その他	57	4	7	1	11	80

平成19年度全特長研究収録より

病弱特別支援学校における

センター的機能の実績(回答86校)

地域の学校等における支援件数

保育所・幼稚園	625
小学校	2,197
中学校	1,727
高等学校	343
その他	459
合計	5,387



# 特別支援学校の特長

- ◆ 人的、物的資源が整備されている。
- ◆ 対応する障害種別に関する専門性がある。
- ◆ 児童生徒の集団があることで学習意欲を育てることができる。
- ◆ 一人一人に応じた指導計画や教材教具に関する専門性がある。
- ◆ 一定の規模の組織で、専門家の配置等も可能である。
- ◆ 特別支援教育の制度や専門性を維持する基盤。
- ◆ 一定の教員集団の中でOJTにより、専門性を育成できる。
- ◆ センター的機能の量的拡大に対応する組織としての専門性がある。
- ◆ 教科指導と特別支援教育の専門性がある。